

まちづくり推進組織の会議記録

会議の名称	平成17年度第1回かごしままちづくり会議
開催日時	平成17年4月15日(金) 15:30~17:00
開催場所	国民宿舎レインボー桜島2階会議室
出席者 (委員) (市職員)	委員13名、市職員4名 宮廻会長、津曲副会長、西園委員、萩原委員、今別府委員、四元委員、槐島委員、岡本委員、中迎委員、永山委員、奈良迫委員、野口委員、新地委員 宇治野企画部参事、中園企画調整課主幹、その他関係職員
傍聴者数	0名
事務局	鹿児島市企画部企画調整課
会次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 報 告 (1) 副会長について (2) かごしままちづくり会議設置要綱の一部改正について (3) 平成16年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について (4) 平成16年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的事項) (5) 平成16年度第2回地域まちづくり会議について (6) 平成17年度鹿児島市当初予算について 4 協 議 (1) 合併後の本市のまちづくりについて 5 その他 6 閉 会
会議の概要	1 開 会 2 会長あいさつ 3 報 告 (1) 副会長について 会長から、先の会議で副会長に津曲委員を推薦することを確認していたが、本人の了解が得られた旨を報告。 (2) かごしままちづくり会議設置要綱の一部改正について 事務局から、かごしままちづくり会議設置要項の一部改正について報告。 (3) 平成16年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について 事務局から、平成16年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について報告。 委員から、4番目の「意見等の分類」が「3」になっていることについて

質疑あり。

事務局から、4番目の意見については、今後提言を行っていききたいとの意思表示と捉えたためである旨の説明あり。

(4)平成16年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項)

事務局から、平成16年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項)説明。

(5)平成17年度第2回地域まちづくり会議について

事務局から、平成17年度第2回地域まちづくり会議について説明。

委員から、吉田地域まちづくり会議においては、特に補足説明することはないが、集落(町内会)未加入者対策については、窓口での啓発だけでは難しい面があるので、何らかの対策を講じなければいけないと考えている旨の補足説明あり。

委員から、桜島地域まちづくり会議においては、公営住宅の建設については今年度既存集落現況調査事業が実施されるが、過疎化対策が一番の問題だと思う。また、有害鳥獣駆除の予算が少ないことと各地域の猟友会の連携・育成を図ってほしい旨の補足説明あり。

委員から、喜入地域まちづくり会議においては、特に、国道226号線の平川交差点付近の用地買収について、市として国土交通省と協力して取り組んでほしいという意見が出された旨の補足説明あり。

委員から、松元地域まちづくり会議においては、特に支所の空きスペースについて要望が強かった。旧5町高齢者バスカード交付事業などの新しい事業については広報が大事である。また、新市まちづくり計画に盛り込まれている事業については、同時に予算を計上することはたいへんと思うが、予算の頭だしが大事であるので要望したい旨の補足説明あり。

委員から、郡山地域まちづくり会議においては、2番目の意見は運動場等の施設の使用申込が支所のできることを知らなかったために出された意見である。また、地域の婦人団体等も窓口となる部署が分からないとの意見も出されている。支所の機能が分かりにくいので、もっと住民にわかりやすい広報を行ってほしい旨の補足説明あり。

委員から、吉田地域まちづくり会議において集落(町内会)未加入者が増えているとの話があったが、他の地域はどのような状況なのか質問あり。

委員から、郡山地域では、具体的な数字は持っていないが、未加入者が増えているという実感はある。特に賃貸マンションに居住する世帯のほとんどが未加入であったり、地域住民との交流がほとんどないケースもある旨の発言あり。

委員から、松元地域でも同様な状況があり、特に団地等で増える傾向が強くなりつつある旨の発言あり。

委員から、喜入地域では、ひとつの集落(町内会)[100世帯から15

0世帯]に1、2名程の未加入者がいるが、今後は増えてくるのではないかと懸念している旨の発言あり。

委員から、桜島地域では、集落（町内会）未加入者はほとんどいない旨の発言あり。

委員から、旧鹿児島市でも町内会未加入者が増えている状況である。行政として、未加入者に対する指導などもう少し対策を考えてほしい旨の意見あり。

会長から、まちづくりの基本はコミュニティがしっかりしていることである。鹿児島市においても都市化が進みコミュニティが希薄化してくるという問題があるので、どのように対応していくかが重要になってきているので、検討をしてほしい旨の発言あり。

委員から、次回会議に市民局から検討状況の回答がなされることになるが、市長は市民との協働や市民が主役の鹿児島市を目指しており、地域コミュニティを大事にしている旨の発言あり。

委員から、コミュニティの活性化のために、地域のことは地域の人たちが一番知っているので、コミュニティのアイデアを吸い上げる施策として、自分たちのコミュニティをどのようにしていくかアイデアを募集し、審査会で順位を付け、予算をつけるといったコミュニティのまちづくりコンテストを行ってはどうかとの意見あり。

委員から、旧鹿児島市においても町内会未加入の問題があり、5地域においても同様なことが起こっているため、私たちの団体としてもコミュニティづくりと一緒に頑張っていきたい。一つの方法として、ごみ袋の有料化ということが言われるが、ごみ出しが無料であると思っている人がいるので、不法投棄など問題があるようである。一度に何ができるわけではないので、徐々に鹿児島市を良くするために頑張っていかなければいけないと思う。特に町内会の加入促進については、お互いに知恵を出し合っていく必要があるとの発言あり。

(6) 平成17年度鹿児島市当初予算について

事務局から、平成17年度鹿児島市当初予算について説明あり。

4 協 議

(1) 合併後の本市のまちづくりについて

会長から、かごしままちづくり会議は、合併後の本市のまちづくりについて自由闊達に意見や提言を述べていただき、それらを施策に反映し、新市の速やかな一体化と均衡ある発展を図るために設置された。今年度には、合併に伴う第四次総合計画の見直し作業や平成18年度～平成20年度にかけての事業を取りまとめた実施計画の策定も予定されている。かごしままちづくり会議で出された意見・提言についても時期を失することなく、これらの策定作業の中で反映できるものは反映する必要があると考えている。ついては、委員の方々の建設的な意見・提言をお願いしたい旨の説明あり。

委員から、桜島は外部から客観的にみてもたいへんな価値があり、屋久島の場合は手つかずの自然であったが、桜島は鹿児島市という文化の堆積がすぐ近くにあることを強調して、世界遺産に登録してはどうかとの意見あり。

委員から、桜島に人を引き付けるには、施設を整備するだけでなく、人の気持ちを掴むきめ細やかな配慮を行うなかで、文化の質的な向上が図らなければいけない旨の発言あり。

委員から、桜島は昔は溶岩がポイントであったが、今は松林になっている。溶岩に代わる観光的なポイントとして、植物を一つに整理して、例えば桜の木をたくさん植えて美しい島にしてはどうかとの意見あり。

委員から、既存集落現況調査事業は市営住宅を建設することによって定住促進を図ろうとするための調査と理解しているが、週末に宿泊し、自然や人とのふれあいを通じ、その地域の良さを知り、それが契機となり定住化につながるかどうかといった視点も含めて調査をしてほしい旨の意見あり。

委員から、桜島支所管内の視察を行い、あらためて桜島の良さを感じるとともに、新生鹿児島市の大きなキーになるのではないかと思う。雄大な景色の中でこの地域で育まれた魚介類や食物を潮風に吹かれながら食することで地域の活性化ができないかと感じた旨の意見あり。

委員から、世界的に有名な桜島の登山ができるようになれば、周辺の錦江湾などの観光資源とあいまってすごい魅力となるのではないかとの意見あり。

委員から、合併に伴って、各地域が持っている独自のコミュニティが失われないようコミュニティ施策を作っていかなければならない旨の意見あり。

委員から、支所にある議場については、子どもたちなどが自分たちのまちについて語り合える学習の場として活用できないかとの意見あり。

5 その他

会長から、次回は5月下旬に開催を予定している旨の説明あり。

6 閉 会